② 正厳院

正厳院

古文書の数々

五代目隆栄氏が描いた掛け軸

銅鏡

【メモ】

小池山正厳院は、町内大池地区に社殿があり、現在は八代目にあたる 櫻本 義隆氏が宮司を務めている。創設からの成り立ちには①修験者が秋田城下から横手、湯沢、院内を経由して移動し、現在の位置に落ち着いた。②沼沢玄蕃が差首鍋館を築いたことに伴い修験者が集まったため、修験の場あるいは館の守り神として開設した。といったもののほか、諸説ある。

社殿には、ご神体のほか、藤原光長(江戸時代中～後期の鏡師)作と思われる銅鏡や、五代目にあたる隆栄氏が描いた掛け軸、寺社奉行からの通知文書など、歴史的な資料や物品が多数保管されている。

なお、隆栄氏が描いた絵は、滝応寺にある(ふすま絵)ほか、町内数か所に保管されている。